

1	(1)	3200	(2)	109	(3)	745	(4)	690
	(5)	142	(6)	134	(7)	100.2	(8)	16
	(9)	13 (L)	(10)	6	(11)	$\frac{6}{7}$	(12)	17 (こ)
	(13)	13 (こ)	(14)	1305	(15)	12 (人)		

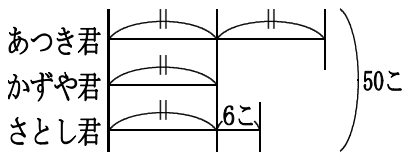
2	(1)	2.94 m	(2)	15 人
---	-----	--------	-----	------

3	(1)	32 cm	(2)	16 まい	(3)	56 cm
---	-----	-------	-----	-------	-----	-------

4	(1)	50	(2)	29
---	-----	----	-----	----

5	(1)	12 通り	(2)	27 通り	(3)	30 通り
---	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(配点) ; 各4点×25

- 1 (9)  $400\text{ mL} + 126\text{ dL} = 4\text{ dL} + 126\text{ dL}$   
 $= 130\text{ dL} = \underline{1.3\text{ L}}$
- (10)  $7\text{ 分} = 60\text{ 秒} \times 7 = 420\text{ (秒)}$   
 $420 \div 70 = \underline{6}$
- (11)  $\frac{3}{7} + \frac{5}{7} + \frac{2}{7} - \frac{4}{7} = \frac{6}{7}$
- (12) 右の線分図を利用する。  
 あつき君  50こ  
 かずや君  
 さとし君  
 $50 - 6 = 44\text{ (こ)}$   
 $44 \div 4 = 11\text{ (こ)}$   
 よって、さとし君は  $11 + 6 = \underline{17\text{ (こ)}}$
- (13)  $100 \div 7 = 14\text{ あまり } 2$  より、  
 $11 \div 7 = 1\text{ あまり } 4$  から、 $13\text{ あまり } 4$  まで。  
 よって、13こ。
- (14) まず、 $4\text{ □}$ に1けたの数をかけて積が2けたになる。かける数は1か2だが、最後の積が4けたなので2とわかる。 $4\text{ ㊦} \times 2\text{ ㊧}$ として、㊦か㊧の少なくとも一方が5。㊧=5のとき、1300を25でわると52でおかしいので、㊦=5。  
 $45 \times 2\text{ ㊧}$ で1300に届くのは、  
 $45 \times 29 = \underline{1305}$ のみ。
- (15) 男子を●、女子を○としてならべると右の図。  
 ●は12こなので12人。

- 2 (1) 30人のうち上から28番目の生徒は、下から3番目の生徒。  
 $1.98\text{ m}$ 、 $2.86\text{ m}$ の次の2.94 m。

(2) 下の表の色をつけた15人があてはまる。

3.16	4.00	5.02	1.98	3.77	3.61
2.94	4.99	5.28	3.84	3.50	3.01
3.00	3.23	3.11	3.46	4.32	2.99
4.52	3.24	4.19	4.42	2.86	3.57
4.02	3.50	4.43	3.49	4.76	3.66

- 3 (1) 右の図のように長方形にして考える。1辺2cmの正方形が、たてに5こ、よこに3こならぶ。  
 $2 \times 5 = 10\text{ (cm)}$   
 $2 \times 3 = 6\text{ (cm)}$   
 $(10 + 6) \times 2 = \underline{32\text{ (cm)}}$
- (2) 1番目の図では1まい、  
 2番目の図では4まい、  
 3番目の図では9まい、…といわゆる平方数になる。  
 よって、4番目の図では  $4 \times 4 = \underline{16\text{ (まい)}}$
- (3) (1)と同じように長方形にして考える。  
 1辺2cmの正方形が、5番目の図では、たてに  $5 + 5 - 1 = 9\text{ (まい)}$ 、よこに5まいならぶ。  
 $2 \times 9 = 18\text{ (cm)}$      $2 \times 5 = 10\text{ (cm)}$   
 $(18 + 10) \times 2 = \underline{56\text{ (cm)}}$
- 4 (1)  $100 \div 2 = \underline{50}$
- (2) ㊦が最も大きいとき、㊧は最も小さくなるので、㊦、㊧が10、11の場合を考える。㊧の最小は12で、このとき㊦は  $50 - 12 = 38$   
 ㊩は  $50 - 10 - 11 = \underline{29}$ となり、これは条件を満たしている。

- 5 (1) ㊦は1か2、㊧は4か5、㊨は7か8か9。  
 $2 \times 2 \times 3 = \underline{12\text{ (通り)}}$
- (2) ㊩は1か2か3、㊦は7か8か9、㊧は1か2か3か5だが、㊩で1まい使っている。  
 $3 \times 3 \times (4 - 1) = \underline{27\text{ (通り)}}$
- (3) (㊦, ㊧) = (2, 3), (2, 4), (2, 5),  
 (2, 6), (3, 4), (3, 5),  
 (3, 6), (4, 5), (4, 6),  
 (5, 6)の10通り。  
 ㊨は、2から6の5まいのうち、㊦と㊧で2まい使っている。  
 $10 \times (5 - 2) = \underline{30\text{ (通り)}}$

(配点) ; 各4点 × 25